



一人ひとりの夢。思いを大切に

# しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 永田 元  
 発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1  
 電 話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail [info@shinafuku.org](mailto:info@shinafuku.org)

目次

- (一) らうんじ
- (二) 「コロナに負けない！私たちの今」
- (三) 「品川区中延障害者計画相談事業所開設／私達の風景④」
- (四) 品川区中延障害者計画相談事業所開設／私達の風景④
- (五) ボランティア紹介／大井三丁目紹介（縁側カフェ）
- (六) 豆知識／法人まつり中止のお知らせ／しなふくの窓



本部ロビーの幻想的なアートフラワーウォール  
制作者のEASEの皆さんと（関連記事四面）

困難の時こそ様々なことに気づかされます。品川区役所から配布された衛生物品に感謝し、関係者の皆様の励ましの声を受け、職員一同一致団結して取り組むこの状況をチャンスに変えていければと思っています。

今後ともこれまで同様、皆様のお力添えお引立てをよろしくお願ひいたします。

総務課長 荒川 敦明

## らうんじ

秋の気配が色濃くなつてまいりました。

この度の新型コロナウイルス拡大に伴う緊急事態宣言の発出、解除された後事態の収束が見えない中、当法人各事業所においても取り得るすべての感染症対策を実施し、事業の継続をしてまいりました。

職員と同様に利用者の皆様にも慣れ親しんだ日常に変化が生じました。「利用者の皆様は変化を嫌うのではないか」と心配していた私達をよそに、限られた条件の中で、新たな日常を楽しみつつあります。人の無限の可能性と強さを感じるとともに、この困難を皆様と共に乗り越えたときにはさらに、新しい品川総合福祉センターになつてることを想像し、楽しみでもあります。

困難の時こそ様々なことに気づかれます。品川区役所から配布された衛生物品に感謝し、関係者の皆様の励ましの声を受け、職員一同一致団結して取り組むこの状況をチャンスに変えていければと思っています。

冬季から面会の制限を実施してまいりました。当初は「暖かくなれば会うことがで



「お母さん、ここ見て～」

(1F・ご家族)

きる」とそんな気持ちで、春を待ち望んでいました。しかし、新型コロナウイルスは終息を迎えるどころか、猛威を振るい続けました。そのような状況下、利用者もご家族も本当はお互い「会いたい」気持ちでいっぱいだったと思い

ます。そんな皆様の思いを少しでも受け止めるべく、5月下旬より「リモート面会」をスタートさせました。初めは、職員もご家族様も慣れない面会方法に

「笑顔の母の顔を見ることができて本当に嬉しかったです」「写真ではなく元気な姿を見て安心しました」等々たくさんの方の言葉をいただきました。また、ご家族の皆様から最後に必ず「職員さんも大変でしょうけど頑張ってくださいね」と心温まる言葉を頂戴しました。本当にありがとうございます。そして、一日も早く安心して直接会うことができるようになります。

右往左往しました。それでも久しぶりにモニター越しに会う利用者のお顔に「思つた以上に元気そうでした」

## 「コロナに負けない！」私たちの今

### かえで荘 リモート面会

「皆の顔が見れて嬉しいねえ」  
(かえで荘のフロアにて)

①丁寧な手洗い

「アワアワしようね！」  
楽しく手洗いしています

子どもが使いやすい石鹼ボトルでこまめに手洗いを行っています。0歳から「アワアワしようね」と保育士と一緒に手洗い。手の洗い方や大きさを伝えていきます。

②食事の配膳

新型コロナウィルスの流行により子ども達が楽しみにしていた行事や日中の過ごし方についても感染症対策を取りながら、子どもしさを失わぬ遊びと元気に過ごせるようにと工夫をしています。その中からいくつかご紹介します。

③パーテーションの導入

営繕の職人（職員）が丁寧に製作したアクリル板は、約25枚にもなりました！  
いろいろな場面で大活躍！

食事は楽しく食べたいし、話題の豊富な子ども達はお話を大好き。パーテーションによつて飛沫予防を行っています。透明なアクリル板を使っているのでお友達の顔は見えないので安心です。

なにより、今まであたりまえに行っていたことが、集団、密を避ける為、難しくなつてゐますが、職員の工夫や発想の転換により子どもの笑顔を失わずに過ごせている事に感謝しています。

# 地域福祉課 ちふく丸 来たよ!!



「何があるの～？」  
笑顔でワゴンを覗いて

大防止のため、入所の利用者の生活はいろいろな制限が加わり、生活が一変しました。そんな中でも施設では安全な環境を整え細心の注意を払いながらも、利用者が生活を楽しめるものを考え、現場職員も試行錯誤、日々奮闘を重ねています。

毎月一回の文化堂さんの移動スーパー「とくしま」も受入れが難しい月もあり、また、お買い物にもなかなか行けない状況もあります。

そこで、地域福祉課では、

いながらも、利用者が生活を楽しめるものを考え、現場職員も試行錯誤、日々奮闘を重ねています。

毎月一回の文化堂さんの移動スーパー「とくしま」も受入れが難しい月もあり、また、お買い物にもなかなか行けない状況もあります。

そこで、地域福祉課では、

音楽を流し、何が来るのだろうというわくわく感を演出。ワゴン一杯のお菓子をのせて、ちょっととしたゲームで、ボランティアさんが作つてくださつた手作り品をプレゼントしたり、本家「とくしま」ではないけれど、「ちふく丸」として、フロアにひと時のわくわく感をお届けしました。

文化堂さんにもボランティアさんにも会えないけれど、皆様のおかげで利用者を楽しめることができた有難い一日でした。



「お好きなのをどうぞ」  
「あら、それもいいの？」

さつき  
更に意欲的に!  
そして笑顔で!



感染対策をしながらの作業風景  
(8号棟 作業場)

出口の見えないコロナウィルス禍の中、就労の場としてのさつきは、緊急事態宣言下、通所自肃要請の中でも通所される方々と作業を継続し、取引企業様の要望に応え、毎日作業に取り組んでいました。解除後は通所を自肃される方も殆どなく、一人一人が、マスクの着用、手洗いや手指消毒に気を付ける事はもちろん、作業場のレイアウトの変更、清掃・消毒の徹底等、職員と一丸になつて行つていま



休憩時間  
(マスクを着けて、距離をとって)

す。幸い取引企業様からの発注は、多少減少したもののがわらずお仕事をいただき、様々な作業をおこなっています。

また、このような状況でも新たに通所を開始された方、通所回数を増している方、新たな仕事にチャレンジする方、これまでと変わらぬ、それ以上に意欲的に作業に取り組んでいます。

そんなさつきの日常には、コロナ禍による不自由さの中にも互いに協力し合い、笑顔（目元しか見えませんが）で言葉を交わす皆さんのがあります。



桜の下、光差す、  
新しい看板と  
新しい自転車

品川区による障害者福祉の新展開の一つとして、「高齢障がい者」の方に寄り添える相談支援を目指すべく、【品川区中延障害者計画相談支援事業所】が中延複合施設内に「区内第一号」として、令和元年十二月一日に開設しました。

地域の在宅介護支援センターに、障害相談支援事業所を併設し、専門相談員を配置する

う障害のある方のそれぞれのあゆみ。そして安心して高齢期を過ごせる地域にしていくために。いくつになつてもその人らしく支えたい

F A X .. 五七五一一七一九七  
電 話 .. 五七五一  
一 九八

事で、若年・青年期等とは異なる利用者やご家族の状況に、より専門的に相談支援をしていく事業所です。

また、対象年齢などに応じて、障害者福祉サービスから介護保険への円滑な移行や、専門機関との連携によるコ

ディネートや公的サービスの支給に必須である利用計画書の作成などをていきます。

加齢による様々な変化や不安に寄り添うだけでなく、障

がいがありながらも、個々の人生において獲得してきた「自立」とその方自身の「良

いところ」を見つめながら支援していきたいと思います。

## 品川区中延障害者 計画相談事業所開設

**品川区立  
中延特別養護老人ホーム  
Nakanobu Nursing Home For The Aged**  
**中延在宅介護支援センター  
Nakanobu Home Care Support Ctr.**  
**中延在宅サービスセンター  
Nakanobu Home Care Service Ctr.**  
**中延障害者計画相談支援事業所  
Nakanobu Planning & Consultation Support Ctr. For Persons With Disabilities.**

新しく看板に表示されました



## 「私たちの風景」vol.4 「本部ロビー」 EASEさん、ありがとうございます！



EASEさんへ  
沢山のメッセージ！

デザイナーの中井さんと永井さん

株式会社ベンコミニケーションズ社長の福島澄男氏は「ロビーで立ち止まる人が増え、利用者・家族・職員・

撮影や空間コーディネートなどを実行している会社

正直の本部入口正面の空間が、七月末から八月の間、華やかに彩られました。

撮影や空間コーディネートなどを実行している会社



デザイナーの中井さんと  
永井さん

して笑顔が気持ちを変え、行動が変わると、生活も変化し、人々の関係性も変わり、全体の雰囲気も良くなるように！」との思いを語ってくださいました。

ディスプレイを見るやいなや歓声と共に「見た瞬間に気持ちが明るくなつた！」と言

われた利用者、普段はお部屋にいることが多い方も、見た



デザイナーの中井さんと  
永井さん

て一階に降りてきました。ご家族は、「手の込んだ飾りの素晴らしさとイーズさんの思いに感激した」と、涙を浮かべる方も。職員からも「気持ちが華やぐだけでなく、応援してくださる思いが嬉しい！」と声が聞かれました。

イーズさんの真心に心から感謝すると共に、ますます頑張ろうと胸に熱いものがこみ上げてきました。

# ボランティア紹介 ~丸山とく子様~



バスタオルをお手拭  
タオルにチェンジ！

時間はあります。しかし、その間のいろんな人に助けてもらつたといふ経験を経て、またます「頼つてくる人は助けてあげたい」とボランティア活動ができない中でも、バスタオルを持ち帰り、裁断し小さいサイズに縫い終えたら、持参してください」という活動をずっと続けてくださっています。そのタオルは、利用者のお手拭きとして活用されています。

利用者にも「お母さん」と慕われ、品福とのご縁を楽しんでくださっています。これから感謝の気持ちで一杯です。これからも末永くよろしくお願いいたします。

丸山さんの法人のボランティアとしての活動は、品川総合福祉センター開所当時から、現在に至ります。途中何年か交通事故のリハビリで引きなかつた期間はあります。しかし、その間のいろんな人に助けてもらつたといふ経験を経て、またます「頼つてくる人は助けてあげたい」とボランティアとしてお手伝いしてくださいます。



コロナ禍前の  
施設での活動風景

丸山さんの法人のボランティアとしての活動は、品川総合福祉センター開所当時から、現在に至ります。途中何年か交通事故のリハビリで引きなかつた期間はあります。しかし、その間のいろんな人に助けてもらつたといふ経験を経て、またます「頼つてくる人は助けてあげたい」とボランティアとしてお手伝いしてくださいます。

長年の活動では、手芸や縫物、洗濯たたみ、行事のお手伝いなど、お手伝いしてくださいます。最近のコロナ禍では、さつている内容は多岐にわたります。最近のコロナ禍では、さつている内容は多岐にわたります。最近のコロナ禍では、

地域の薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、マッサージ師等



この日は薬剤師・  
済藤美香さん（左）  
のお話です

現在コロナ禍でプログラムは中止していますが、大井三丁目高齢者憩いの場にて、毎月第二金曜日午後に行われています。対象は区内在住の六十歳以上の方で、ご自身で通うことができる方であればどなたでも参加することができます。



皆さん興味津々です

## 「大井二丁目高齢者憩いの場 「縁側カフェ」をご紹介します

地域の薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、マッサージ師等が講師となり、年齢とともに注意が必要なことや、日常生活で気をつけて生活してほしいことなどをテーマに、お茶を飲みながらアットホームな

介護食品や肌水分のテーマの回では、実際に介護食品の試食や肌水分測定を行い、「味付けが良くて美味しい」「嫌だ、そんなに乾燥しているの」など一喜一憂する様子も見受けられました。これからも地域の方が、身近に利用できる交流の場となればと考えています。（コロナが落ち着きま

## 「ベランダキャンプ」ができますか？

現在も人込みを避けて生活をされている方は多いかと思います。手軽に季節感を味わえ、秋の夜の安全な過ごし方として「ベランダキャンプ」「家キャンプ」はいかがでしょうか。ご存じの方も多いと思いますが、感染症予防で三密を避けるようになり、春先から一気にこの言葉の認知度が高まりました。

ベランダでキャンプすることを「ベランピング」、自分の家の庭などでキャンプをすることを「家キャンプ」または「家キャンプ」と言います。SNSなどでも多くのベランダキャンパーによる実際のキャンプの様子が紹介されて

います。ベランダに簡易テーブルとイスを置いて、外の風を感じたり、夕景を楽しみながら食事したりと、家の中のキャンプより少しだけ自然に近い思



ます。自宅にいても、アイディア次第で様々な楽しみ方が出来るのであります。お

所としては狭いですが、子供たちも一緒にちよつとした料理やランタンを用意して、キャンプの雰囲気を味わうことができます。戸建の場合は、もう少し本格的な疑似体験が可能になります。雨天の場合は自家の車庫で、晴れた日は庭にテントを張って、バーべキューも楽しめます。

このコーナーは普段は目にとまらないちよつとしたものを紹介していくコーナーです。

今回は、七月

利用者のため、家族のため、仲間のため、自分のため、そして大切な人のため。私たち一人ひとりができるとをしっかりとやっていく。私たちの未来のために願いを掲げました。

感覚が味わえます。室内は場所としては狭いですが、子供たちも一緒にちよつとした料理やランタンを用意して、キャンプの雰囲気を味わうことができます。戸建の場合は、もう少し本格的な疑似体験が可能になります。雨天の場合は自家の車庫で、晴れた日は庭にテントを張って、バーべキューも楽しめます。

ベランダに簡易テーブルとイスを置いて、外の風を感じたり、夕景を楽しみながら食事をしたりと、家の中のキャンプより少しだけ自然に近い思

感覚が味わえます。室内は場所としては狭いですが、子供たちも一緒にちよつとした料理やランタンを用意して、キャンプの雰囲気を味わうことができます。戸建の場合は、もう少し本格的な疑似体験が可能になります。雨天の場合は自家の車庫で、晴れた日は庭にテントを張って、バーべキューも楽しめます。

開催を楽しみにしていた皆様には、大変申し訳ありませんが、何卒ご理解を賜りま

## お祭り中止のお知らせ



利用者が作ったアマビエも願いと共に飾りました

